

認知症地域支援推進員のみなさんへ

推進員通信 No.3

今の時期を大切に、いっしょに、一步一步！

秋が深まってきました。北国から、雪の便りが届いています。
みなさん、お元気でお過ごしでしょうか？

下火になりかけていた新型コロナウイルスの感染が拡大しつつあり、日々ハラハラしながら活動を進めておられることと思います。そんな中でも、コロナの時代だからこそ、つながりを大切に、認知症の人たちが地域の中で共に生き生き過ごす試行錯誤が広がってきています（裏面をご参照下さい）。

推進員さんが活動を報告し情報交換する【すいしんいんオンラインセッション】が10月からスタートしました。現在600名以上の登録があり、1月まであと3回の動画配信とセッションを行います。参加登録は随時受け付けております。一人でも多くの方がこのセッションでつながって、活動のヒントや元気を得ていただければ幸いです。登録方法や報告資料は、DCネットでどうぞご覧下さい。

なお、東京センターでは令和3年度は「認知症地域支援推進員研修」を開催する準備を進めています（下記参照）。

来年度は、従来の会場に集まる集合型の研修と並行して、オンラインで参加するweb型の研修も予定しています。現在、都道府県のご協力を得て来年度の受講希望の予定数を確認中です。

受講希望者数に応じて、研修の開催回数や会場（場所）を設定します。新任研修、そして現任研修を通じて、全国各地の推進員仲間と出会い、学び合い、一緒にパワーアップをはかっていきましょう。

令和3年度【認知症地域支援推進員研修】の開催方針について

- ◆ 東京センター主催で、新任者研修および現任者研修を開催します。
- ◆ 感染拡大状況 / リスク管理のレベルに応じて、また遠隔地等会場へのアクセスの状況に応じて、以下のA、Bいずれかを選択いただけます。

A. 集合型（従来通り：研修会場に集まって参加）

*参加数を少なくし、感染対策を徹底して行います。

B. web型（新規：zoomを利用してオンラインでつながって参加）

*A. 集合型と同日・同時間帯に開催します。

質疑、オンライン参加者同士でグループワークを行います。

- ◆ 2日間の日程（標準カリキュラム：講義・最新情報の提供、グループワーク、活動計画の作成等）全課程を修了した方に、修了証を発行します。
- ◆ 開催要綱を1月中に、募集案内を3月にお知らせします。
- ◆ 募集開始は4月からとなります。少し先になりますが、研修の機会をどうぞ活かして下さい。



認知症の本人が地域とつながるために：コロナ禍の今こそ、楽しい企画で動き出そう

◆ 寒い季節、そして感染拡大の再燃の中で、地域とのつながりが減り、本人も、関係者も、そして推進員も暗くなりがち。そんな今、推進員が「楽しい企画」を考え、本人そして地域に呼びかけながら活動している情報が寄せられています。

① 散歩でつながり、リフレッシュ

- * 集いやカフェの開催にこだわらずに、出会い、つながりあうことが大事。
- * 「外の空気が吸いたい」、「気晴らししたい」という本人の声をもとに、地元のぶらぶら散歩を企画。
- * 三密を避けながら、ゆっくり歩こうと呼びかけたら、本人や地域の人、支援者が一人また一人と参加。
- * みんな晴ればれ。
「また行こう！」という本人の声に勇気づけられ、行きたいところを聴きながら次を企画中。



② 春を楽しみに…つながりが育つ

- * 本人さんの中には、畑仕事や園芸、土いじりが好きな人たち、誰かと一ならやりたい、という人たちも多い。
- * 本人と会える機会や電話の際に「春になったら育ててみたい花や野菜」を聴いてみたら、リストを作ってくれたり、種や肥料、鉢や園芸用品の提供を申し出してくれる人も。教わることの方が多い。
- * 地域の人や専門職にも好きな人が多い。やりたい人同士で春を楽しみに冬の今から準備がスタート。



③ 音楽でちょっと一緒に、いいひと時を

- * なじみの一曲を口ずさんだり、楽器を演奏したり。そんなひと時があると、ほっと和み、思いがけない歌や演奏の技を発揮してくれる人たちがいる。
- * そんな本人や家族、推進員、支援者数人で、三密を配慮しながら音楽をちょっと一緒にやってみたら、自宅でも続けて楽しんでくれている本人さんも。
- * 「今度、演奏会をやろうよ」と本人からの発案で、みんなの来年の目標ができた。



【すいしんいんセッション】に、どうぞご参加を！

★推進員が活動報告した動画を見よう ➡ 質問・情報を出そう ➡ ウェビナーに参加しよう
各回のQ&A集を作成し、DCネット「認知症地域支援推進員」コーナーに掲載していきます。

- | | |
|--|---------------------|
| 第1回(10月) 本人の声を起点に暮らしと地域を共に作ろう | ※開催済、当日資料をDCネットに掲載中 |
| 第2回(11月) コロナ禍でこそ、つながろう、つなげよう ➡ 動画配信中心！ | ウェビナー：11月25日15時半～開催 |
| 第3回(12月) 居場所を基地に、本人がやりたいことをかなえ、共に変身！ | ➡12月1日動画配信開始 |
| 第4回(1月) 無理なく、長く、着実に、地域に根差す見守りのネットワークを | ➡1月4日動画配信開始 |

*参加申込み(登録)を随時受け付けています。ご参加可能な回だけでも、お気軽にご参加下さい。

「ともに生きるまち」：関連情報



◆ NHK厚生文化事業団「認知症とともに生きるまち大賞」：推進員が進めるまちづくりが受賞

今年4回目を迎えた大賞、そしてニューウェーブ賞が発表されました。これまでも毎年、推進員さんが参画した活動が受賞してきていますが、今年度も、大都市でも小さなまちでも、受賞した活動に、推進員さんが深くかかわっています。活動紹介の動画も放映されるオンラインでのフォーラムが、12月13日(日)に開催されます。ぜひ、ご参考に。

申込み：NHK厚生文化事業団 第4回認知症とともに生きるまち大賞

➡ <https://www.npwo.or.jp/info/17887>

◆ 厚労省 ショートムービー「希望の道」：全国7地域の「本人からのメッセージ」、順次配信中

前回の通信でもご紹介したショートムービーが新たにアップされています。一人ひとりの生きざまや地域でともに生きる多様な姿に触れることができます。3分ほどの短い動画なので、気軽にみることができ、集まりや会議など様々な場面で動画を一緒に見て話し合いをするなど、このショートムービーを活かす推進員さんが増えています。推進員活動を通じて、自分の地域で暮らす本人が一人でも多く、その人なりの「希望の道」を歩めるようになりますように。

検索：厚生労働省 認知症本人大使「希望大使」

➡ https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/ninchi/kibou.html

情報を、地域の本人や家族・地域の人、多様な専門職にも伝え、話し合い、自地域ならではの活動を！

お問い合わせ・情報提供はこちらへ

認知症介護研究・研修東京センター 推進員研修担当

suishinin@dcnet.gr.jp